

25歳の若さでがんを発病して治療費250万円！  
脳卒中で倒れて150万円吹っ飛んだ……

# 生命保険に入らずに 失敗した人々の悲劇

生命保険の加入者が減っている。誰もが先の読めない経済状況に備えて支出を減らそうとしているようだが、時にそれが裏目に出ることも……災害は忘れた頃にやってくるのだ。そこで保険に入らなかつたばかりに悲劇を見た3人の男性を直撃した。

## 保険加入者減少で、悲劇に見舞われる人は急増中……

分、顔色が悪いなあと思ったら『末期がんで余命半年なんだ』と告白するんですよ。最初は悪い冗談かと思いました」

IT企業に勤める田宮裕司さんは、昨年末親友に呼び出されたときのことを振り返る。

田宮さんは親友の死を経て、保

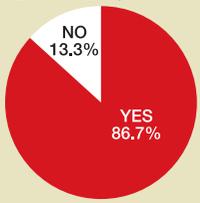
険の必要性を痛感したという。

実は今、このように生命保険に加入しない人が増えている。田宮さんの親友のような悲劇に見舞われるリスクが広まりつつあるのだ。仮に一家の大黒柱が生命保険に加入しないまま亡くなれば、遺族はわずかな蓄えと遺産年金で生活することを余儀なくされる。近親者の死と経済的ダメージのダブルショックは想像を絶するだろう。

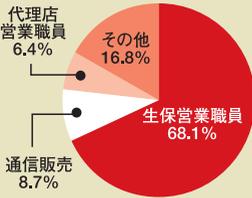
生命保険文化センターの調査によ

ると生命保険加入率は'94年度をピークに年々低下し、'09年度速報値は86%。「意外に多い」と感じるのは調査対象が「世帯員2人以上の一般世帯」だから。未婚者・単身者の加入率になると、サンプル数は限られるが「50%弱」という調査結果もある。だが、若年層に絞れば加入率がさらに低下することとは間違いない。それを裏付ける

### 生命保険に加入していますか？



### 生保加入チャネル比較



生命保険文化センターの調査結果（'09年速報版）より。対象は世帯員2人以上の世帯で、うち32.6%が世帯主年齢65歳以上。加入チャネルを見ると調査年度ごとに通信販売の比率が高まっていることがわかる

悲劇

末期がんで天逝した親友が……



田宮裕司さん(仮名・37歳)  
大学時代からの親友は社会人になってから同業のフリーハル。その親友の死を受けて保険の加入を検討

ような事例は少なくないのだ。

がんになったら入る保険はわずかに……

「保険なんて結婚してから入れればいいやつって思ってたから、がんになつてしまつて……」

機械メーカーに勤める大久保喜久さんは3年前のことを振り返りながら嘆息する。胃の痛みに耐え切れず病院に駆け込んだところ、診断結果は「胃潰瘍」。処方薬を服用しながら回復に努めたが1か月



たつても快方に向かわず、別の病院で診察を受けてみると実は「胃がん」だったことが判明したのだ。早期発見が幸いして部分摘出手術と化学療法により完治したが、2か月の入院でトータル250万円の出費！高額療養費制度（自己負担限度額を超えた分を払い戻す制度）で100万円近くの払い戻しがあつたものの、生命保険に加入していなかつたために100万円以上は自腹を切るハメに。そして更なる問題が。

### 大久保喜久さん(仮名・28歳)

機械メーカーで営業として働く25歳の若さでがん。保険の必要性を痛感したという



がんの治療費が250万円に！

カリスマ節約FPを直撃!

# ボクらはどんな保険を選べばいいのか?

## 「生」

命保険」と一口に言っても、内容はさまざま。SPA!世代にとって、最適な保険とは? FFPの中島啓子さんはこう解説する。

「ベースとなるのは大きく分けると『医療』と『死亡』の2種類です。医療保険は、ご自身が病気やケガをした際の経済リスクをカバーするもの。一方、死亡保険は自分が亡くなった後の家族の生活を保障するものです」

「独身であれば、残された家族の生活を心配する必要がない。つまり、死亡保険の重要度は低くなるというわけだ。」

「もちろん、病気をしても何も心配がないくらい貯蓄がある人であれば保険は必要ありません。ですが、貯蓄が少なく、生活に困る可能性がある人こそ『万が一』に備えて手を打っておきましょう」

「ただし、保険のかけすぎは禁物。不安に駆られて保障額を増やすと、当然、保険料は上がる。将来どころか、今が危うくなりかねない。まずは最低限の医療保険を確保するといいですね。例えば、入院給付金を一日あたり5000円と1万円どちらにするか迷ったら、5000円のほうが加入し、その後の生活スタイルによって保障を手厚くするか決めるといいですよ」



ファイナンシャルプランナー  
中島啓子氏  
コミュニケーションスキルを伝えるBCFP  
シニアタレントFPA資格を生かして、お金に関する悩みを解決。プラチナ・コンシェルジュ所属。ブログ(http://picon.keiko.bob.jp/)

「150万円が倒れて」  
「150万円が倒れて」  
「150万円が倒れて」

「遺族年金や死亡退職金、貯蓄といった『収入』を差し引いた額が、必要保障額になります」

「こまかい計算は面倒……!というときに便利なのが、保険会社のシミュレーションツールだ。Webサイト上で家族の年齢や子供の人数、収入などの情報を入力すると、必要保障額を算出してくれる。」

「必要な保障額をざっくりつかんだら、次はその条件を満たせる保険の中から割安なものを選べばOK。『保険は高い』というイメージがありますが、実は1か月の保険料が800円程度で加入できる保険もあるんです」

狙い目は、申し込み手続きなどがインターネットで完結できる「ネット生保」だという。「ネット生保は営業員の人件費やオフィスの維持費などコストがかからない分、保険料が割安になっています。また、ネットで手続きができるので、忙しいビジネスマンには便利なんですよ」

## 保険料比較

### ネット系 VS その他

満35歳まで毎月の保険料はいくら?

●死亡保険(期間10年)の場合

保険金	1000万円	2000万円	3000万円
ネット系生保	1940円	3180円	4680円
A社	2920円	5840円	7860円
B社	3290円	6580円	9270円

●死亡保険(70歳まで)の場合

保険金	1000万円	2000万円	3000万円
ネット系生保	4680円	9120円	1万3650円
A社	-	1万1700円	1万6650円
B社	-	1万2085円	1万7365円

## SPA!注目のコノ会社

### SBIアクサ生命保険

ネット上で健康状態を告知するだけで上限4000万円の死亡保障を設定できるプランもあり。2000万円以上なら高額割引制度が適用されるなど、割安な保険料のプランが充実。目下、契約者が急増中 (http://sbia.jp/hg)



横山融さん(仮名、26歳)  
大学卒業で就職先を倒れたため、退職金を全く使えずに、現在、定職を探している最中

「一度がんになると、保険加入の条件が急に厳しくなってしまいます。がんになる前だったら月2000円程度のがん保険に入ることができたのに……」

これでは完治した喜びも半減か。病は体力のみならず、継続的に経済力をも蝕んでいくのだ。

派遣社員として働く横山さんのケースでも悲劇は突然訪れた。大学を卒業して就職直後のある日、自宅でテレビを見ていたところ急に頭痛に襲われ、ついには意識不明に。くも膜下出血による脳卒中だった。

「治療費は全部で150万円ほど

ネット生保のシミュレーションツールは要チェック。条件を細かく設定することが可能だからありました。生命保険に入っていなかったたので、全部親に払ってもらいましたが……」

こう話す横山さんは長期入院のために会社を退職。回復後は派遣社員として働きながら両親に治療費を返済している。月々数千円の出費を避けたばかりに訪れる悲劇。最悪の事態に備えて先手を打つことは、給与カットにリストラが頻発する先の見えない今こそ不可欠なサバイバル術なのだ。

医療保険試算

保障額	1000万円	2000万円	3000万円	自由設定
月給	1,155円	2,730円	5,040円	1,155円
15歳から65歳(標準)	39円	91円	168円	39円
保障額(標準)	5,000円	10,000円	20,000円	5,000円
がん保障(標準)	50,000円	100,000円	200,000円	50,000円
がん特約(標準)	0円	30,000円	30,000円	特約なし
がん特約(標準)	5,000円	10,000円	20,000円	5,000円
がん特約(標準)	500,000円	1,000,000円	2,000,000円	500,000円
がん特約(標準)	50,000円	100,000円	200,000円	50,000円
がん特約(標準)	150,000円	300,000円	600,000円	150,000円

### 保険クリニック



最新の保険分析システムと保険コンサルタントを揃えて、全国にクリニックを展開。家族構成や年収などの詳細なデータをもとに数ある保険会社のプランから、各個人に合った最適な保険プランを導くサービスが高評価